

鹿市医狂壇



551 樋口 一風 選

兼題「冷(つん)て」

天

伊敷支部 谷山五郎猫

ボーナズ少なか亭主い冷て女房

(唱) 俺ゆば責めんじ会社い言えち

(評) 物価高に家計をどう遣り繰りしても足りません。奥様が期待していた、ご主人のボーナズは少なかったたので、奥さんはガツカリです。

ボーナズが少なかったたのは、御主人のせいではないのに、虫の居所が悪かったのでしょうか、不甲斐無い亭主だだけでは、思わないでください。八つ当たりされても困ります。

地

上町支部 吉野なでしこ

冷て海み我慢浸った寒稽古

(唱) 澄んだ心で無の境地ちなつ

(評) 見ているだけで震えあがりそうな、空手修業や古式水泳を見ることがあります。「心頭を滅却すれば火もまた涼し」という慣用句がありますが、無になりきれれば、水でも同じなのでしょう。心臓麻痺でもしなければいいが。

狂句には季語は無いですが、発表する時季を考慮して詠んでください。寒稽古は、寒の時季に詠んで戴ければ、句がもつと見る人の共感を呼ぶのではないかと思います。

秀逸

五客一席

南紫支部 二軒茶屋電停

冷て手を火鉢で温めつ餅も焼つ

(唱) 温もいながら待つ焙い餅

五客二席

市立病院支部 上荒田三十郎

サウナかあ冷て水風呂息く堪れつ

(唱) 火照つ身体いな凄ぜ良か気分

五客三席

上町支部 吉野なでしこ

寒か朝冷たか水でしゃきつなつ

(唱) 気合が入った二日酔亭主

五客四席

伊敷支部 谷山五郎猫

冷て朝顔を洗るとも二三滴

(唱) お湯が出らんで指ぶちよつ浸けつ

五客五席

上町支部 吉野なでしこ

かつ氷誠て冷とし生つ返つ

(唱) あんまい冷えつ痛てなつ頭

入選

紫南支部 加治屋大好

プロポーズ頑張つしたとん冷て娘

上町支部 吉野なでしこ

ゴルフ好つ冷て輪っかを頸ぐ嵌めつ

伊敷支部 谷山五郎猫

横張な冷て素振いの可愛か娘

薩摩狂句鑑賞 189

薩摩狂句暦

三条風雲児著 から (平成元年五月一日発行)

再婚も面倒でで今ん亭主し我慢

長瀬 慶子

「六十年の不作」なんて思っているのは、亭主の方だけと思っていたら大間違い。「こんな男になんで惚れたんだろう」と後悔しながらも、子供のいるから我慢していたり、い年をして離婚するのもみっともないからと、諦めている奥さんたちも多いのかもしれない。

この句の場合、離婚をして、再婚するのも面倒くさいし、不満だが、この亭主で我慢しようというわけである。しかしほんとうは首つたけなのに、おどけているのかもしれない。

赤字線乗ってん戻や汽車が無し

細山田 妙子

この十一月から、分割・民営化へ向けて、国鉄最後の新ダイヤがスタートした。都市間輸送のスピードアップ地方主要都市圏での地域密着型ダイヤなど、その特色はあろうけれども、結局都市型でダイヤである。

地

上町支部 吉野なでしこ

冷て海み我慢浸った寒稽古

(唱) 澄んだ心で無の境地ちなつ

(評) 見ているだけで震えあがりそうな、空手修業や古式水泳を見ることがあります。「心頭を滅却すれば火もまた涼し」という慣用句がありますが、無になりきれれば、水でも同じなのでしょう。心臓麻痺でもしなければいいが。

狂句には季語は無いですが、発表する時季を考慮して詠んでください。寒稽古は、寒の時季に詠んで戴ければ、句がもつと見る人の共感を呼ぶのではないかと思います。

人

紫南支部 加治屋大好

ど温き夏冷てビールが我家へ待つ

(唱) 脇目も振らじ真つ直ぐ帰宅

(評) 車通勤の方は、会社帰りに居酒屋で一杯なんていうのは出来なくなりました。だから奥様の心尽くしのビールが、冷蔵庫でキンキンに冷えています。

夏の冷えたビールは、頭をどやされても、にこにこ笑って飲みたいものです。「冷てビールが待つ」が、効きました。

だから、廃止の決まっている、いわゆる赤字ローカル線などは、大いに利用したくても、帰りには便が無いと言う場合がある。沿線の人々のため息が聞こえるようである。

薩摩狂句誌「洪柿」八五五号 雑吟から

(令和七年十月一日発行)

添加物つ気いなすつとん凄ぜ化粧

(唱) 美人になつな何でん塗つ

安田 雄紀

目覚ましゅば黙らせつかあ一眠い

(唱) 目が覚めた時か天にお日様

上田 喜八郎

舵取も慣れつ阿吽の五十年

(唱) 婦唱夫随でツ一言えばカー

諸木 小春

ゲームかよ消えた台風が生つ返が

(唱) 温か海水い貫ろたエネルギー

福園 放電

グルメ旅行見慣れん御馳走せ箸しや迷つ

(唱) 分らん時な先ずお椀かあ

有馬 湧声

狂句募集

◎新年号
題吟「帰省(もどつ)」
締切 令和7年12月3日(水)
◎2号
題吟「不自由(せんぼ)」
締切 令和8年1月6日(火)
◇選者 樋口 一風
◇漢字のわからない時は、カナで書いてご応募ください。選者が適宜漢字をあてさせていただきます。
◇応募先 千八九二一〇八四六
鹿児島市加治屋町三番一〇号
鹿児島市医師会「鹿児島市医報」編集係
TEL 〇九九一三二六二三七三七
FAX 〇九九一三二五二六〇九九
E-mail: ihou@city.kagoshima.med.or.jp